



6月19日の夕飯は“選べるメニュー”でした。今回は「天井」と「かつ丼」の2種類の中から、どちらか好きな方をお選び頂きました。天井のタネは海老・鱈(きす)・茄子・南瓜・ししとうの5品目。あったかご飯に揚げたての天ぷらに乗せ、特製のたれをたっぷり掛けてお召し上がり頂きました。かつ丼は、サクサクとした揚げたての豚カツを新鮮な卵でとじ、ふっくらと仕上げました。みつばの風味も芳しく、ボリューム満点でした。汁物はしめじとキャベツのお味噌汁。副菜はさっぱりとしたホウレン草のお浸しと箸休めの沢庵漬け、デザートには青リンゴのゼリーを添えました。皆様、お味は如何だったでしょうか？

★書道教室【大倉佳子先生】

- 7月 1日(月)
- 7月 8日(月)
- 2階 午後1時30分～

★折紙教室【田中美枝子先生】

- 7月 3日(水)
- 2階 午後1時30分～

★編物教室【梶谷和子先生】

- 7月 9日(火)
- 7月23日(火)
- 2階 午後1時30分～

★詩吟教室【佐藤譲先生】

- 7月 17日(水)
- 2階 午後1時30分～

★陶芸教室【斎藤勝義先生・梶谷和子先生】

- 7月26日(金)
- 2階 午後1時30分～

～ 定 例 催 し 物 ～

★音楽会【宮岡久美子様】

- 7月 9日(火) 午前10時40分～ 3階

★音楽会【さくら草様】

- 7月 4日(木) 午後1時30分～ 2階
- 7月25日(木) 午後1時30分～ 3階

★朗 読【権田喜代様】【根岸麗子様】  
【高橋政子様】【あすなろ様】

- 7月12日(金) 午後3時30分～ 2階
- 7月17日(水) 午後3時30分～ 2階
- 7月19日(金) 午後3時30分～ 2階
- 7月24日(水) 午後3時30分～ 3階
- 7月26日(金) 午後3時30分～ 3階

編 集 後 記

軒先に吊るした風鈴の涼やかな音色が夏本番の到来を告げています。これから暑い日が続きます。熱中症には十分お気を付け下さい。

編集代表 金子弘幸



いづみのホームページ <http://www.kokoro.or.jp/izumi-care/>

介護老人保健施設いづみケアセンター



〒355-0807 埼玉県比企郡滑川町和泉 873  
TEL0493-56-6123 FAX0493-56-6124

「父より受けし愛を紡いで」

リハビリテーション課  
係長 堀口勝己



私の父の事を少し語ります。千葉県の間部で生まれ育った父は、働く事が大好きな人でした。林業に従事していましたが、正に「仕事が趣味」という様な人でした。誰に認められる事のない仕事でも、粘り強く黙々とこなしていました。幼かった頃の私は、「父が何を思って仕事をしていたか」等という事は到底理解出来ず、働く父の姿に少し気恥ずかしささえ覚えた事を思い出します。

8年前に中心性頸髄損傷という疾患を患い、首の手術をしました。手術は無事成功しましたが、父はじっとしていられない性分の人でもありました。数日後、母から「周囲の心配をよそに病院を抜け出し、“リハビリがてら”と言いついて、高尾山へ出掛けてしまった。」と呆れ声で連絡が入りました。帰宅後、地図を広げて自慢気に笑った父の顔は今でも忘れられません。本当に無鉄砲な絵に描いた様な人でした。退院後の経過は概ね良好でしたが、手足の痺れにはいつも悩まされました。そんな状況でも、頭の中は常に仕事の事で一杯の様子でした。やがて現場に復帰し、行える範囲の仕事の事をリハビリテーションとなり、生き甲斐にもなっていました。ある日、母は父に言ったそうです。「心配だから程々にして下さい。」と・・・。しかし一向に耳を傾けることなく、趣味とも言える“山の仕事”に没頭しました。そして今年の2月、趣味が高じて不慮の事故に遭い、大好きだった生まれ育った山の中で他界致しました。享年64歳。早すぎる別れでしたが、父らしい最期でもありました。

父に「何の為に働いたのか」、「何故仕事に没頭出来たのか」と尋ねた事はありません。しかし今、父の声が聞こえる様な気がしています。何故なら私も子を持つ親の立場となり、幽かに“その答え”が理解出来つつあるからです。恐らく全ての発想や行動の根底に「家族の存在」があったのでしょう。いや、間違いなく存在した筈です。私はそれを確信しているのです。私達家族へ向けられた、海よりも深い「無償の愛」を・・・。

父が旅立ってから、私は「自分に出来る事は何か」という事を考える時間が多くなりました。未だ明確な答えに到達出来ては居ませんが、一つだけはっきり言える事があります。それは父から教えられた“スピリット(精神)”を胸に刻み、ここ“いづみケアセンター”を現場として、私に与えられた使命を全うするという事です。その使命とは、「リハビリテーションを通じての社会的貢献」に他なりません。利用者様が生き活きと、充実した毎日を送れる様、高き理想を掲げ、支援して参る所存です。

父から託された「見えないバトン(無償の愛)」を社会に、そして子供達に繋ぐ為、私に与えられた“やるべき事”を愚直なまでにコツコツと積み重ねていこうと思います。私が使命を果たし終え、父に再会した折に、父から「良く頑張った。」と褒めて貰える様に・・・。

訃報

去る、平成25年5月26日 当法人 理事長 塩原 丈夫 が永眠しました。  
改めて生前の御厚誼に深謝し心から御礼申し上げます。

医療法人一昭友会



～ 職員「金子遼さん」陸上国際大会で優勝 ～



チェコのプラハで開催された「2013 INAS 陸上競技世界選手権(6月8日～6月18日)」に、当施設フードサービス部職員「金子遼さん」が日本代表選手として出場しました。居並ぶ世界の強豪を相手に、10000m走はぶっちぎりの速さでゴールを駆け抜け、見事優勝を果たし、悲願の金メダルを獲得しました。5000m走でも2位となり、今大会2つ目のメダルを手中に収めました。世界の頂点を極めた金子さんの活躍は、全職員の誇りです。金子さん、世界一おめでとうございます。当施設は今後も金子さんの挑戦を全力で応援して参ります。



～ 夏 祭 り の ご 案 内 ～

日時：8月3日(土)  
13:00～16:00  
場所：2階全域及び中庭  
内容：「盆踊り」13:00～13:40  
「模擬店」13:50～16:00



# 施設のひとコマ

## ★5月17日(金)焼き鳥パーティー



2階3番館の皆様が、中庭のウッドデッキで焼き鳥パーティーを行ないました。手際の良い利用者様にお声を掛けたところ、「昔、焼鳥屋さんだったのよ。」とのお返事。流石「昔取った杵柄」で、とっても美味しい焼き鳥が焼き上がりました。皆様大喜びで次々と平らげ、笑顔一杯のパーティーでした。焼き鳥と言えばビール……。最高ですね。次回は是非！！。

## ★6月8日人情芝居「劇団鶴亀」来所

二部構成の第一部は、お馴染みの人情芝居「国定忠治」。「赤城の山も今宵限り。可愛い子分のおめえ達を置いて行くのは忍びねえが……。感動の名場面に利用者様も思わずホロリ。間近でみる殺陣も大迫力で、迫真の演技に酔いしれました。第二部は歌とマジックショー。摩訶不思議な手品の数々にどよめきの声が上がりました。楽しいひと時を有難うございました。



## ★6月10日(月) お花見ドライブ



2階4番館の皆様が、ときがわ町の花菖蒲園へお花見ドライブに出掛けました。色とりどりの菖蒲の花畑を散策し、清々しい空気と花の香りの中で、菖蒲を堪能しました。利用者様は「心が洗われる様だ。」と仰り、とても喜んで下さいました。最後に全員で“菖蒲”をお題に俳句を作り、楽しかった一日の思い出としました。



# 通所課の活動

通所課では利用者様のご要望に基づき、趣味活動を支援する目的で、各種クラブ活動をスタートさせました。現在、「写真部」「書道部」「運動部」「手芸部」「園芸部」「料理部」「絵手紙・ぬり絵部」の7つのクラブがあり、其々積極的な活動を展開しています。まだ始まったばかりの新たな取り組み……。皆様、是非ご参加下さい。



園芸部ではきゅうり、トマトを育てています。



料理部ではおいしい手作りコロッケを作りました。

# 6/16(日)家族交流会



家族交流会の開催に当たり、生活ケア部の石川ゆき子部長が「当施設における看取りの在り方」というテーマで、講演を行ないました。“平穏”こそ尊厳ある人生の幕引きであるという当施設の考え方を、自らの経験を織り交ぜながら語る石川部長の話に、出席された多くの家族様から賛同と共感のお言葉を頂きました。交流会は2つのグループに分かれ、スタッフを交えて懇談会形式で行なわれました。日頃の悩みや介護への思い等、活発に意見が交わされ、予定されていた2時間は瞬く間に過ぎていきました。

# 新入職員紹介



**新井 裕美さん**  
生活ケア部 看護師  
どんな時でも私を頼って頂ける様、利用者様との信頼関係を築いていきたいと思ひます。一生懸命頑張りますので、宜しくお願い致します。



**石井 清さん**  
支援部事務課 運転手  
諸先輩方の「心・技・体」を手本として、安心・安全をモットーに、思いやりを持って業務に精進したいと思ひます。宜しくお願い致します。



**秋池 美香さん**  
介護支援専門員  
「居宅いづみ」に入職しました。利用者様が自立した在宅生活を送れる様、支援して参りたいと思ひます。どうぞ宜しくお願い致します。

# 特集！！「レクリエーション」を探る！！

今号の特集は「レクリエーション」です。当施設には専任のレクリエーション・ワーカーが在籍し、利用者様のレクリエーション活動を支援しています。活動は集団を対象としたグループ活動と、利用者様個々の趣味等を支援する個別の活動に大別出来ます。グループ活動が“心身の活性化”や“生活のリズムづけ”を意図的に狙っているのに対し、個別の活動は利用者様本人の主体性に基づく自発的な活動という点で、よりレクリエーション本来の目的に沿った形態と言えます。個別の活動は「趣味の教室」として、多くのボランティアさんのご協力を頂戴しながら運営しています。陶芸・詩吟・俳句・編み物・写経等が人気です。グループ活動では毎日行なわれる朝の体操、定期的な音楽会、お菓子作り等に大勢の利用者様にご参加下さい。



●朝の体操  
毎朝行なわれる朝の体操は、規則正しい生活の一助となっています。若さを保つ秘訣でもありますね。体操の後は、皆で歌を合唱しています。



●俳句  
俳句も人気の活動です。利用者様が相談して月ごとのお題を決め、熟練の方も新米の方も、いつも楽しく一句詠んでいます。個性溢れる作品ばかり……。流石です。



●お菓子作り  
写真は「お焼き作り」の一場面です。生地を練る人、餡を詰める人……。皆が役割りを果たし、チームワークもバッチリでした。お味も最高です。



●陶芸  
土と向き合い、土の声を聞き、どんな作品に仕上げるかイメージを膨らませます。無心で取り組んだ結果は1ヵ月後に完成。作品は正直に作者の心を映し出します。自作の陶器は生活場面でも大活躍です。

●朗読  
心に沁みのお話や、名作文学を朗読します。読み手の語り口調や抑揚などで、深い味わいが醸し出されます。穏やかな時間がゆっくりと流れていきます。

●編物  
セーター、マフラー、手袋など、皆様とても器用に編まれます。愛情たっぷりの作品たち……。身も心も温まりますね。冬が待ち遠しいくらいですね。

●書道  
月に2回開催される書道教室は大人気の活動です。腕に覚えのある達人もおられ、書架展に出品した作品が入選した利用者様も少なくありません。

●写経  
心を鎮めて般若心経を綴ります。自分自身と向き合う貴重な時間です。師走の声を聞く頃に、毎年お寺へ納経しています。

# 施設からのお知らせ

## 職員「吉澤完志さん」優秀賞受賞！！



本紙4月発行号でもご紹介させて頂きましたが、2月に大宮で開催された「全国老人保健施設協会 第1回関東甲信越ブロック大会」に於いて、当施設通所課主任「吉澤完志さん（介護福祉士）」の発表した演題が見事優秀賞に輝きました。去る6月12日に表彰式が執り行われ、埼玉県介護老人保健施設協会の小川郁男会長より表彰状と記念品が授与されました。写真は小川会長（右側）との記念撮影です。この度の受賞は吉澤さんのみならず、施設にとりましても大変な名誉であり、職員全員の励みとなりました。吉澤さん、おめでとうございました。

## 朝日生命様より車椅子をご寄贈頂きました



朝日生命保険相互会社・東松山営業所様が取り組まれる社会貢献活動の一環として、当施設に車椅子をご寄贈下さいました。写真は贈呈式の後、頂戴した車椅子を前に朝日生命の皆様（右側3名）と記念撮影した折の様子です。車椅子は大切に使用させて頂きます。有難うございました。